

第三のみちの人

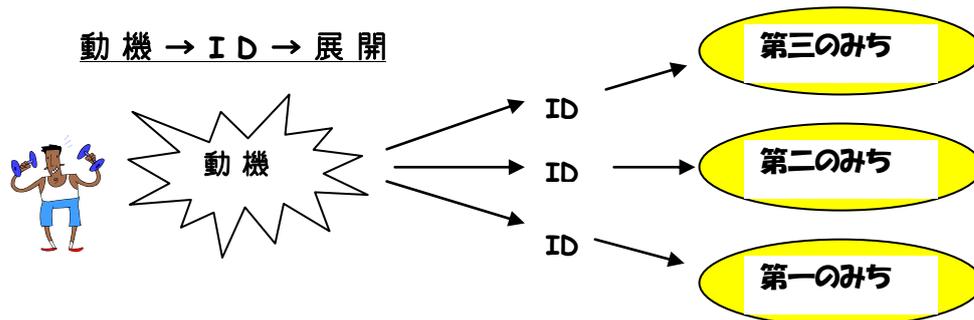
永田 円了

The person you become

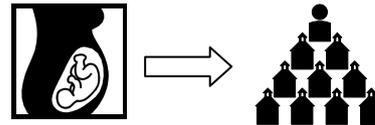
人の意識は周りの影響によって変化・成長をする。幼少時代は、みんなと同じでありたいと願い、所属する集団の中での相互援助のもと、ぬくぬくと生きる（第一のみち）。

しかし成長するにつれ、皆と同じでは満足できないという感情が生まれる。集団から個への脱皮である（第二のみち）。第二のみちでは、個の力が花開き、芸術が生まれ、技術革新が行われ文明が開化する。力のある者はどんどん飛躍し、富と名声を得てサクセスストーリーを歴史に刻む。しかしこのみちに安住する限り、自らのエゴは満たされても、心は満たされない。自利はあっても、利他がないからである。

さて、この第二のステージから脱皮して、第三のみちに向かうにはどのような意識改革が必要なのだろうか。この講座で検証する。



① 第一のみち：集団意識 (T.I)
守られている、与えられるのを待つ、
がまん、がまん、がまん…、退職したら、が口癖



② 第二のみち：個人意識 (P.I)
外に出る、私たちが私に、マイウェイ、
個人の才能が花開く、自己中心のライフスタイル



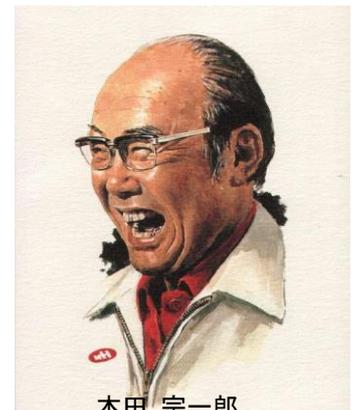
③ 第三のみち：象徴意識 (Aha!)
意味を問う、他者との関係、人を支援、
コーチングを極めて出かけて行く、



事例

ヌーの出産（人間以外の生物は甘やかされない）
ある信用金庫の事例、カドがない、顔がない、癖もない
カメルーン バカ族／集団から個へ
組織を飛び出し、タイへ行く幸峰さん（第一のみち→第二のみちへ）
ブッシュ大統領、日本の国会で演説『競争』2002年
美輪明宏、三島由紀夫を語る 第一のみちから第二のみちへ
財前教授の総回診（『白い巨塔』より）（第一のみち、ピラミッド型組織）
財前と里見の会話／‘第二のみち’と‘第三のみち’の会話
Switch インタビュー／ 冒険家・角幡唯介 vs. 大行満大阿闍梨・塩沼亮潤
本田宗一郎；第三のみちの人／先人達の底力 知恵泉より
歌・エルビス・プレスリー An American Trilogy 第三のみちの手前で燃え尽きる

永田円了のホームページ：www.enryo.jp



本田 宗一郎

1906(明39) - 1991

享年 84 歳